

平成19年度 第1回授産活動活性化セミナー

主 催 さいたま市

開催日時 2008年3月22日

開催場所 さいたま市障害者総合支援センター

受講者 さいたま市内 授産施設の指導員（先生方）

このセミナーは、さいたま市から依頼を受けた下記の SADECO メンバーによって展開・開催されました。

サデコ側プロジェクトメンバー

田中仁一郎、山岡和彦、長野繁敏、和泉賢二、竹田良雄、田積正敏、田端克雄、染谷珠樹、三浦功、黒岩立治、原正士

（セミナーの内容）

・前半：「大宮太陽の家」の実地調査から始まり、そこでの商品「パウンドケーキ」を例題に取りながら、「売れる商品のデザイン開発」の考え方・進め方を映像を使って講話しました。「デザイン」と言う言葉の本来の意味合いから説き起こし、「売れる商品をつくるには」「売れる商品の条件」へとすすみ、「商品デザインの進め方」を具体的に、さまざまな資料や考察をまじえ、判りやすく解説しました。

なかでも、「時流を見落としてはいけない」、「作り手（施設）の現況を良く踏まえて」、無理のない「商品開発を志向すべき」と言うくだりは、参加施設の指導員の方々に大きく納得していただけたようです。このセミナーは、「商品のデザイン業務」を進めるに当たって、ややもすると、はぶかれ・省みられない「デザイン業務進捗の基本」を平易に判りやすく解説したもので、「もの造り」に関わる関係者の皆様に大いに参考になりました。

・後半：「大宮太陽の家」による商品「パウンドケーキ」を具体例として、開発していく手順を明らかにし、売上げ増大の可能性を追求し、パウンドケーキの新しい商品群を展開した。終わりに、提案されたそれぞれのパウンドケーキの試作・パッケージデザインから始まり店頭表示の具体例をも提示しました。

・最後に、開発デザインされた試作品を囲み意見交換がなされ、質疑応答が繰り返された。又、セミナーに参加された施設から、それぞれ自作の製品が持ち込まれ、「製品相談会」が自然発生的に行われ、SADECO 会員が適切に応答しました。

セミナー終了後、双方の参加者から「久しぶりに見る盛会」「始めて判ったデザイン」などのご意見をいただきました。このセミナーの実績は、次年度からの SADECO の地域振興事業に大きく貢献するものと思われました。



1. 施設見学



2. 施設見学



3. サデコメンバーによる会議



4. セミナー後の相談会



5. 開発製品



6. 開発製品



4. シンボルマーク提案



6. セミナー後の相談会